

News Letter

vol.42
2020. 10月号
毎月発行

今月のよっしー

皆様のおかげで成り立っております地域医療教育、本当に感謝です。
歴史ある池井病院、そして西諸をはじめとする県内各地、先輩の先生方、卒業生、色々な方々に支えられて学生たちはNoviceからProfessionalへの階段を上っていきます。医師だけでなく保健や福祉の専門家の皆様にも大変お世話になっております。行政の皆様にも。そして一番の先生役は患者さんであり、住民の皆様です。地域で病院で実習生を見かけたときはぜひ「きばれよ」とか「がんばらないよ」と声掛けをお願いします。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介 「池井病院」

医療法人養気会 池井病院 理事長 池井 義彦 先生

池井病院は大正8年（西暦1919年）に内科医院として開業以来、100年に渡って小林市・西諸地域の地域医療に努めています。

2019年11月に新棟が完成し、人工透析室・リハビリ室・老健デイケアルーム・手術室の拡張や移転、また職員への福利厚生のための環境整備を行いました。今後既存の建物の改装を行い、より一層の患者サービスの充実、職員の勤務環境の改善を行っていく予定です。



当院では、宮崎大学医学生を今までに24名受け入れていま

す。みなさん礼儀正しく、聞く姿勢や学ぼうという気持ちは素晴らしいもので、患者様の目線にあわせて会話していたのも印象的でした。

これからも養気会が、地域に求められるニーズを考え、今後さらに地域に根付いた医療・福祉が出来る様に努力を重ねていきたいと考えています。

つのだより

～都農町の寄附講座「地域包括ケア・総合診療医学講座
(通称：都農町まるごとケア講座)」からの定期的なお知らせ～

都農町国民健康保険病院では10月1日から1ヶ月間、初期研修医1年目の前田充範先生が研修をされました。前田先生は宮崎大学附属病院臨床研修「地域医療強化コース」の第1号として、患者さんの地域生活を支えるための診療について研鑽される毎日を送られています。

今後まだまだ続く研修の道のり。指導医のもとあらゆる経験を経て、住民の皆さん、患者の皆さんに愛され頼りにされる先生になっていただけると嬉しいです。



地域包括ケア実習指導者講習会を開催しました。

10月3日（土）に地域包括ケア実習で学生受け入れや実習対応をいただいている医療機関や行政の担当者を対象にした講習会を開催しました。

医学科5年次後期～6年次前期にかけて実施するクリニカル・クラークシップⅡの地域医療実習「地域包括ケア実習」は、今年7月で2クール目（2年目）が無事終了し、県内各地の医療機関で100名の医学生がお世話になりました。新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請、緊急事態宣言の発出などで、4月から実習予定の学生は急遽実習中止となったことは残念でしたが、解除後の5月25日からは無事再開の運びとなりました。

その実習総括として企画した講習会ですが、今回は初めてオンライン（Zoom）で開催しました。当日は31の医療機関と10名の医学生に参加していただき、片岡医学部長のあいさつ、総括、レクチャー、医学生発表と続き、医療圏別グループワークでは参加者の皆様から活発な意見をいただきました。

少々時間オーバーしてしまいましたが、初のオンライン開催にもかかわらず大きな混乱もなくスムーズな運営ができたのも参加の皆様のご対応のおかげと感謝しています。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

3クール目の地域包括ケア実習は10月26日から開催され、101名の医学生が地域の皆様にお世話になります。実習内容や方法については、関係者の皆様のご意見やアドバイス等をいただきながら、魅力あるより良い実習にするために逐次バージョンアップしていきたいと思っております。引き続きのご協力、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。



▲講習会の様子

1年生対象講義「地域医療学」を開催しました。

医学科1年生を対象とした地域医療学の講義を今月は3回対面講義で開催しました。

①「オリエンテーション」 講師：吉村学教授

3年間に亘る「地域医療学」全体の流れの説明や地域医療をめぐる国内外の動向等の講義に加え、今回初めての取り組みとして医学科6年生2名による地域医療実習のプレゼンや質疑応答を組み入れました。学習指導において上位学生が下位学生の支援を担当し、基礎学力を身につけ、高等教育レベルに結びつけていくことを目的としたPeer Assisted Learning（PAL）を導入した講義スタイルで行い、学生からもわかりやすいと好評でした。

②「治す医療とささえる医療」講師：南日本ヘルスリサーチラボ代表・ひらやまのクリニック院長 森田 洋之先生
財政破綻した夕張市で医療崩壊が起こった時に何があったのか、患者さんのための地域医療のあり方とはなにか、健康に暮らすとはどういうことか、医師に本当に求められているものはなにか、インパクトあるスライドで講義をしていただきました。

③「“教わる力”を鍛えよう！」 講師：早川学先生

宮崎県の医療事情や実際の症例を基にした3つの視点、タイムマネジメントの重要性、総合診療医とは、などなど多くの学びをいただきましたが、ライブ投票を行えるクラウドサービスslidoを随所に活用したインタラクティブな講義でしたので、学生はスマホを使って積極的に参加、かなりの盛り上がりとなりました。



▲吉村先生と6年生2名による講義



▲森田先生による講義



▲早川先生によるSlidoを活用した講義

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

